

令和3年(2021年)8月25日(水曜日)

## 湧水

下田市長就任1年

2020年7月、現職を大差で破った松木正一郎氏が市長に就任して1年余りが経過した。市民の大きな期待を背負つての船出だったが、さまざまな施策の停滞が続き、市民の一部には失望感すら広がっている。行政と市民の信頼関係の再構築が急がれる。

この1年で市民が特に市役所の対応に疑問を抱いた一つが、新型コロナウイルスワクチン接種の混乱だ。一時、高齢者接種が9月末までの見込み

浜大浜海水浴場での条例違反業者問題は条例改正など根本的な対応を先送りにし、次善策のパトロール強化でも、警察や地元との事前連携をおろそかにしている。市営会建設の再検討は、経過が不透明なままだ。

## 市民との信頼感醸成を

背景には、職員のスケジュール感の乏しさを感じる。課題の解決には、日頃からの準備と中長期的な計画が不可欠だ。「やつてある感」を見せることが終始し、根本的な問題

となり、市民の不満は高まった。この混乱が象徴的だが、下田市は場当たり的な対応が目立つ。白浜大浜海水浴場での条例違反業者問題は条例改正など根本的な対応を先送りにし、次善策のパトロール強化でも、警察や地元との事前連携をおろそかにしている。市営会建設の再検討は、経過が不透明なままだ。

市民が不信感を抱く原因の一つは、松木市長就任以前から続く、職員の態度にあると感じる。取材中、会合に遅刻する職員の姿や、語気を強めて市民に当たる職員の姿をしばしば見かけた。また市民に必要なことを伝えようとする姿勢にも多く触れた。

(下田支局・尾藤旭)

となり、市民の不満は高まった。この混乱が象徴的だが、下田市は場当たり的な対応が目立つ。白

浜大浜海水浴場での条例違反業者問題は条例改正など根本的な対応を先送りにし、次善策のパトロール強化でも、警察や地元との事前連携をおろそかにしている。市営会建設の再検討は、経過が不透明なままだ。

市民が不信感を抱く原因の一つは、松木市長就任以前から続く、職員の態度にあると感じる。取材中、会合に遅刻する職員の姿や、語気を強めて市民に当たる職員の姿をしばしば見かけた。また市民に必要なことを伝えようとする姿勢にも多く触れた。

松木市長には、注目を

集める耳当たりのよい施

策ではなく、地味ながら山積する課題を着実に解

決していく行政を進めてほしい。市民を信頼し、情

報公開を徹底する中で、

懸案を小さくとも一つ一つ前に進めれば、自然と

市民の役所に対する信頼感は回復するだろう。

任期はまだ折り返し地

点にも達していない。職

員のやる気を引き出し、

市民との信頼感醸成を第

一に考えて行政を進めれば、市民の協力が得られ、懸案も解決へ大きく前進するはずだ。